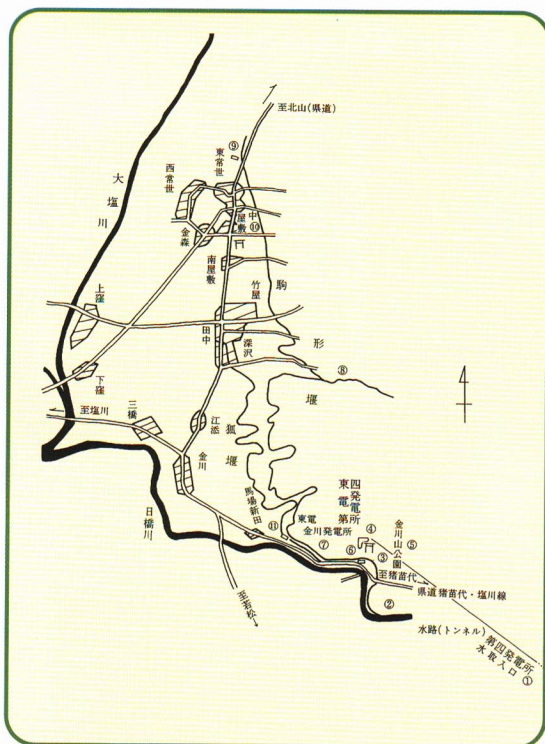


(2) 駒形堰・狐堰 (用水路をひらく)



(駒形堰・狐堰の略図)

昔、駒形地区はたいへんな水不足ぶそくになやまされていました。そこで、今から600年ほど前に狐堰きつねぜきがつくられました。

この堰せきができたことで、馬場新田・金川・江添・三橋・深沢・田中・竹屋・下窪しもくぼの地区に水が通りました。この狐堰きつねぜきには次のような言い伝えつたえがあります。

水不足にこまった人々は、ある日、田中村のいなり神社にお参りをしお願いをしました。すると、「来年の2月初午うまの日を待つべし」という神様のお告げがあり、人々はふしぎに思っていました。

この日を待ってふたたび神社にお参りをすると、白狐しろぎつねがあらわれ、残雪ざんせつに足あとをつけながら東南とうなんの方へ走っていき、駒形山のふもとで消えてしまいました。この白狐しろぎつねの足あとをたどってほられたのが「狐堰きつねぜき」なのでした。

(田中いなり神社)



き、駒形山のふもとで消えてしまいました。この白狐しろぎつねの足あとをたどってほられたのが「狐堰きつねぜき」なのでした。